



～旅立ちと始まり～

全日制部門小学部の卒業式が、2014年3月7日、幼児部の卒園式が3月14日に行なわれました。小学部の卒業式では、会場に在校生と小学部全担任が描いた卒業生の似顔絵が壁いっぱい飾られ、温かさがあふれる中で式になりました。幼児部の卒園式では、等身大の自画像が会場いっぱい飾られ、賑やかな雰囲気の中で執り行なわれました。また、翌週の3月22日(土)、23日(日)にはサタデースクール各校、サンデースクールの卒園・卒業式が行なわれました。

NY育英学園すべての部門から、計179名が未来へ大きく巣立って行きました。



全日制幼児部、小学部の入園式と入学式が、春の日差しの下、晴れやかに行なわれました。4月2日は小学部の入学式が午後1時半より行なわれ、23名の新1年生を迎えました。緊張気味の新入生が笑顔の保護者に手を引かれて登校、受け付けで胸に上級生よりお祝いの名札と花をつけてもらい、ちょっと誇らしげに入場しました。来賓の在ニューヨーク日本国総領事館 広報センター長である相航一氏からは、金子みすゞの詩「小鳥と鈴とわたし」の紹介があり、「みんな違ってみんないい。自分らしく自信を持って学校生活を送って欲しい。」との祝辞を頂きました。

翌日4月3日は幼児部の入園式。式場に向かって保護者に手を引かれ、少し緊張して入場した24名の幼児を、年長組の子ども達が拍手や歌で迎えました。担任のレスコビッツまり先生より胸に名札をつけてもらい両親の元に走って戻る子、名前を呼ばれる前に出てくる子、こぼぼって動かなくなってしまう子など、なんとも愛らしく会場中が笑顔で見守る和やかな場となりました。

NY育英学園全部門において、計218名の新しい幼児、児童、生徒を迎えての新年度となりました。

お問い合わせ/全日制教頭: 河野 茂



私共の Japanese Children's Society は1979年にマンハッタンの片隅で誕生しました。よって、今年2014年は創立35周年となります。今、このJCSの各学校で活躍している職員には学園と同じ年令のメンバーが何人かいます。最近彼等の働く姿に学園の歴史を重ねて見ている自分に気がつきます。あつという間の35年でしたが、目の前にはニューヨーク育英学園をはじめ各校の中心になって支える逞しい先生達の姿があります。学園も先生達もここまでになるには35年が必要だった訳です。

本学園のスタッフはこの地で教育をやりたくて集まってきた教師達です。世界の中心NYの地で日本語と英語のバイリンガルで育つ子ども達に自分の知識とエネルギーを使いたいと応募してきた熱意のある先生達です。学びたい子ども達、教えることに命をかけている教師達、そして教育熱心な保護者の皆さんが集えば、こんなに強いものではありません。本学園を飛び立つ子ども達の中から次世代の日本のリーダー、世界の逸材が多く輩出されることを確信しています。全日制部門、サタデースクール、サンデースクール、アフタースクール、そして、フレンズアカデミーやりんごラーニングセンターから毎年送り出される卒園卒業生にはこれからも、「失敗を恐れず経験をつんで、大きく成長して欲しい」とのメッセージを送り続けて参ります。



河本 徹

ニューヨーク育英学園学園長

～今号の目次～

- P.1
 - 全日制幼児部・小学部のお知らせ
 - 学園長より
- P.2&P.3 アフター大特集
- P.4
 - いろはにほん語教室のお知らせ
 - 日本語検定のお知らせ
- P.5
 - 2014年度育英サマーキャンプのお知らせ
 - 東北被災地児童サマー招待2014
- P.6 JCSのご案内
- P.7
 - 2014年度NY育英学園オープンハウスのお知らせ
 - 2014年度各種検定試験のお知らせ
- P.8 & P.9 NY育英学園トリエンナーレアート作文コンクールのご報告
- P.10 英語科からのお知らせ
- P.11 KID'S ISOの取り組みについて(ブエノスアイレスとの交流)
- P.12
 - NY育英学園職員ペンリレー
 - 高校生ボランティアについて
 - 2013年度NY育英学園ファンディング報告
 - フレンドシップ・ファンド&奨学金基金のお願い

アフター大特集!

音楽発表会 (マンハッタン)

(2014年1月19日 Christ Saint Stephan's Episopal Church)

NY育英学園音楽教室合同の音楽発表会が、マンハッタンの教会で開催されました。総勢35名(年少～中学2年)の子ども達が出演し、ピアノやバイオリンのソロ演奏によるステージが繰り広げられました。発表会の会場は、憧れのリンカーンセンターがすぐそばという美しい教会でした。

ステージでは堂々たる演奏を披露し、美しく響き渡る音楽に大勢のお客さんが魅了されていました。

幼児おんがく教室 (幼児部) 幼児おんがく教室は、歌・鍵盤演奏・合奏・音楽理論の勉強など、様々な音楽基礎を日本の童謡やクラシック音楽等を用いて、友達と楽しく音楽に触れ合う場です。音楽を聴き、歌うことでドレミを耳で判別できるようになったり、リトミックなどの音楽と体の運動からリズム感を養ったりします。また、鍵盤演奏での指の運動や、打楽器等を使っのアンサンブル演奏も行なっています。音符の読み書き学習から作曲や即興演奏など、個性を育てて子どもたちの表現力も豊かになります。



IKUEI ALL-STAR GAME 2013

(ニュージャージー)

(2013年10月20日 NY Ikuei Ballpark)

心地よい秋晴れの下、NY育英 BALLPARK (学園グラウンド) に、全日制野球部、サタデーNJ校野球部、日曜野球に所属する小学生が集結し、オールスターゲームが開催されました。このイベントは米国メジャーリーグをモチーフに行なわれ、選手が打席に立つと米国の球場で耳にする音楽や効果音が流れたり、参加賞にはヒマワリの種やポップコーンが配られたりと、細かい演出がたくさんありました。学園の部門間をこえた交流は、お互いの野球魂を刺激しました。

試合はおよそ2時間におよぶ熱戦の末、6対4でアメリカンリーグの勝利で幕を閉じました。



NY育英合唱部 カーネギーホール (マンハッタン)

(2013年10月19日 Carnegie Hall)

ニューヨークの音楽の殿堂、カーネギーホールで開催されたイベント「第二回日米合唱祭」にNY育英合唱部

(日曜合唱部、サタデーマンハッタン校合唱部、サタデーポートワシントン校合唱部)の児童45名が出演しました。

この日のために練習を重ねてきた「トレロカモミロ」「花は咲く」の2曲を歌い、大観衆のカーネギーの大ホールに素晴らしい歌声を響かせました。

参加した子どもたちは合唱後に、福島県のうつくしま復興大使の3名から激励をうけました。

(写真: [左]カーネギーホールステージ/[右]カーネギーホール外観)

お問い合わせ/アフターディレクター: 木川 雄太郎



スキー (ペンシルバニア州) (2013年12月～2014年2月 Camelback Mountain Resort)

今年の冬も、日帰り&宿泊スキーが大人気でした。NY育英学園のスキーは初心者から上級者までを対象に、ペンシルバニア州のキャメルバックスキー場で、毎年5回の日帰り教室と2回の宿泊キャンプが行なわれています。今年もNY育英学園のスキー経験豊富な教職員が中心となって指導するグループレッスンが好評で、初めてスキーを経験する参加者でも驚くほどの上達が見られました。また、今シーズンは雪にも恵まれ、たくさんのお申し込みが集まり、参加者の総数は248名にもなりました。お申し込みいただいた皆様、ありがとうございました。来シーズンもお待ちしております。



育英ダブルダッチチーム (ハーレム)

(2013年12月8日 The Apollo Theater)

フランス、日本など世界各国から出場者が集うダブルダッチ国際大会にNY育英学園のダブルダッチチームがディフェンディングチャンピオンとして出場しました。毎年マンハッタンのアポロシアターで開催されるこの大会には、今年で6年連続の出場。主な競技部門は2分間で跳んだ回数を競うスピード部門と、音楽とアクロバット技を組み合わせるフュージョン演技部門。保護者の方々や学園関係者など多くの応援もかけつけ、今回も輝かしい成績を残しました。

～大会の主な結果～

- ★スピードダブルス (4・5年生) 部門 準優勝 SAMURAI JUMPERS 記録234回
- ★フュージョン演技 (6・7年生) 部門 第3位 SAKURA JUMPERS



クラブ活動

体操 (幼児:びよんびよん 小学生:器械体操) 体操クラブは幼稚園の年少から小学6年生まで受講可能なクラブです。鉄棒や跳び箱、マット運動を中心に活動しています。総合的な運動能力を高めるには最適なクラブで、体のバランスや柔軟性を磨くことができます。



ダブルダッチ NY育英学園でしか習えないスポーツというくらい浸透してきたダブルダッチ。音楽に合わせてリズムよく跳んだり、時にはアクロバットな動きをしたりと、二本の縄を巧みに使って繰り広げられる競技です。世界選手権や国際大会で優勝経験を持つスタッフによる指導は初心者でもわかりやすく、とても楽しいクラブです。現在は幼稚園児でも受講が可能になりました。



サッカー (幼児部:キッカーズ) サッカーを楽しむ事を目標にしています。幼児にはサッカーというスポーツを知ってもらえるような活動内容になっていますが、小学生ではサッカーの基礎であるパス、ドリブル、シュートから、試合形式の実践練習なども教わります。サッカー日本代表を彷彿とさせる青色のユニフォームで練習する姿が印象的です。



ダンス “COOL”なダンスをモットーに、幼稚園児も小学生もアップテンポな洋楽やJ-POPに合わせて踊っています。指導及び振り付けは、NYでも活躍するダンサーの先生が担当しています。表現力豊かな指導に加え、子ども達の個性を生かした活動内容が人気を呼んでいます。

その他、礼儀や物を大切にしている日本のスポーツ精神を大事にしている**野球**、集中力と計算力はもちろん、英語科の先生が担当しているので語学力も身につく、人気の**ボードゲーム**、幼児・小学生ともに外部施設の屋内プールを使用している**水泳**など、盛りだくさんのプログラムがあります。詳細はどうぞお問い合わせください。



日曜寺子屋アカデミー

江戸時代、日本庶民の間に普及し、初期の小学校としても機能していた「寺子屋」をモチーフに、NY 育英学園では「日曜寺子屋アカデミー」として、2013年度よりスタートしました。

この寺子屋アカデミーでは、習字（毛筆・硬筆）、そろばんに加え、日本の伝統ともいえる陶芸などのアート、さらには身近なものから普段体験できないようなものを題材にした理科実験が組み込まれている、ユニークなプログラムとなっています。



お問い合わせ/アフターディレクター：木川 雄太郎



NIHONGO (JSL/JFL)

↓ 日本語を第二言語、または外国語として学ぶ子を対象として授業。日本語だけでなく日本文化についても楽しく学習できます。授業は日本語と英語で行なわれます。
 ※例えばこんな方は「NIHONGO クラス」・・・
 ・日本語を話したい
 ・日本語または日本に興味がある

日本語クラス

↓ 日本語の読み書きを中心に勉強。日本語を教科として学習したことがない方でも基礎から学べるクラスです。
 ※例えばこんな方は「日本語クラス」・・・
 ・年齢は小学生以上になるが、漢字は書けないまたは読めない
 ・日本語での会話はできるが、読み書きは全くできない

国語クラス

↓ 日本の文部科学省検定済みの国語の教科書をもとに、「読む」「書く」「話す」「聞く」を学ぶクラスです。
 ※例えばこんな方は「国語クラス」・・・
 ・日本語学校に通っているが授業についていくのが難しい
 ・週一回の補習校だけでは少し物足りない

いろはにほんご教室

アフターディレクター/木川 雄太郎

※ご相談は随時受け付けております。

新 ～The Japanese Language Examination in NY～

各種検定を運営・実施しているニューヨーク育英学園では、昨年11月より、新たに日本語検定（2級～7級）を受験できるようになりました。通称、「語検」と呼ばれており、日本語を使うすべての人のための検定です。普段何気なく使っている日本語を正しく使う手立てとして、また、外国語として日本語を学習する方の能力指針としてなど、ぜひこの機会をご活用下さい。

- ★各級のレベル→7級（小学2年修了）、6級（小学4年修了）、5級（小学校卒業）
4級（中学校卒業）、3級（高校卒業・社会人基礎）、2級（大学生・社会人中級）
- ★2014年度第1回日本語検定は、6月14日（土）です。（お申し込み締め切り：5月9日午後3時）
- ★日本語検定は、年度に2回ずつ実施です。
- ★詳細につきましては、当学園ホームページにてご確認頂くか、担当までお問い合わせ下さい。
- ★お問い合わせ先→Phone:(201)947-4832 / E-Mail:goken.nyikuei@gmail.com
- ★日本語検定公式ホームページ→http://www.nihongokentei.jp/
- ★主催：特定非営利活動法人 日本語検定委員会

お問い合わせ/検定関係担当：有馬 和貴

日本語が好きだから
語検



語検 日本語検定

ニューヨーク育英学園 / Japanese Children's Society, Inc.

8 West Bayview Avenue, Englewood Cliffs, NJ 07632 Phone: (201)947-4832 FAX: (201)944-3680

E-Mail: info.nyikuei@gmail.com

ホームページ : http://www.japaneseschool.org

2014年度サマーキャンプ

幼児部デイキャンプ

幼児期には安心して友達と遊べる環境が何よりも大切です。普段の日本語での幼稚園の環境に加え、夏ならではの水遊びや泥んこ遊びなど、楽しく皆で遊べる活動をたくさん取り入れています。

更に異年齢の縦割り保育を取り入れ、年少児から年長児までお互いに助け合い、学び合うことができるようにクラス編成をしています。

宿泊キャンプ

世界各国から子ども達が集まる アメリカンキャンプ!

NY 育英学園のレイクグリーンリーでのサマーキャンプは、今年で20年目。キャンプ場にはプール、サッカー場、野球場、テニスコート、劇場、アーチェリー場、空中ブランコなどの施設があり、60ほどのアクティビティから、それぞれ専門のカウンセラーの指導を受けられます。

みなさんも私達と一緒に日本人代表として参加してみませんか? NY 育英学園の男女教員もカウンセラーとして子ども達と常駐し、専用の宿舎を用意していますので安心して過ごすことができます。

小学部デイキャンプ

今年の夏もいよいよ日前に迫ってきました。毎日楽しい活動が盛りだくさん過ぎる、そんな夢のような日々はあっという間に終わってしまったという声を、サマーキャンプ終了後によく子ども達が口にしています。

今年も、そんな子ども達のために、楽しい活動をたくさん準備してお待ちしております。楽しい活動の中にも、「言葉の時間」や音楽、実験などを通して、実り多いサマーキャンプとなるよう NY 育英学園のスタッフが一丸となって作り上げるサマーデイキャンプをご期待下さい。

野球教室

挨拶!! 礼儀!! これが日本の野球文化!!

野球を通じて総合的な運動能力を高めることに指導の重点を置いています。野球だけに限らず、様々なスポーツをしながら正しい体の使い方を勉強していきます。技術面では、経験豊富なコーチがレベルに応じて高度な技術や知識も指導致します。

スポーツを通じて、挨拶や礼儀作法を学びます。アメリカのベースボールクラブではおそわることの無い、道具を大切にすることや、グラウンドへの感謝の気持ちなど日本の野球文化を学ぶことができます。

お問い合わせ/サマーディレクター: 河野 茂

東北被災地児童招待

ニューヨーク育英学園では、昨年7月に開催された育英サマーデイキャンプに、東日本大震災で被災し、片親もしくは両親を失った子ども達2名を招待致しました。招待された2名は、学園職員自宅でホームステイをしながら、サマープログラムの水泳、工作、英語、スポーツ大会、遠足などを体験し、また、週末は観光やスーパーマーケットでの買い物などに出かけ、有意義な1週間を過ごしました。

第2回目となります今夏2014年も、昨年同様、2名の子ども達を招待し、本学園職員自宅でホームステイ滞在を予定しております。アメリカでたくさんの楽しい経験をしてもらいたいという願いより、滞在期間が昨年よりも1週間長い、2週間と設定致しました。

このプログラムは、東日本大震災発生後より、ニューヨーク育英学園が始めた、被災した子ども達の為の支援活動のひとつです。その大震災で親を失った子ども達を支援する活動及びケア施設「レインボーハウス」の建設に役立てて頂きたいという思いから、集まった義援金をあしなが育英会へ寄付しております。また、義援金活動だけでなく、被災した子ども達と直接関わり、本学園でできる支援活動として、学園が主催するサマーデイキャンプに招待する『東北被災地児童招待』を昨年夏、開催致しました。昨年に引き続き、あしなが育英会より、日本での準備サポートなどのご協力を頂いております。本学園では招待した児童がそれぞれ安心して留学できる環境を整えるとともに楽しく充実した2週間が過ごせる様、しっかりとサポートして参ります。

※昨年も多くの方々・団体よりご支援を得ることができましたが、今年も、被災地児童のアメリカサマー留学支援をして頂ける会社、団体、個人の皆様の温かいご協力をお待ちしております。ご興味のある方は、是非、ご連絡をください。

お問い合わせ/留学担当: キム 佐帆

学園事務局 Phone: (201)947-4832

E-mail: info.nyikuei@gmail.com

二〇一四年度
オープンハウスの
ご案内

NJキャンパス (イングルウッド・クリフス)



8 West Bayview Avenue
Englewood Cliffs, NJ 07632
Phone: (201)947-4832
Fax: (201)944-3680
E-mail: info.nyikuei@gmail.com

全日制デイスクール

- 幼児部** (年少、年中、年長、ゆり組)
 - サッカー部：キッカーズ
 - ボール遊び部：コロコロクラブ
 - 体操部：びよんびよんクラブ
 - ダブルダッチ部
 - ダンス部
 - 水泳部
- 小学部** (小学1年～小学6年)
 - 野球部
 - サッカー部
 - ボードゲーム部
 - 水泳部
 - ダブルダッチ部
 - ダンス部
 - 器械体操

アフタースクール

- つばめクラス (3歳～5歳)
- 小学生教室
- ESL (年少～小学6年)
- ピアノ教室
- 空手教室
- 書道教室
- 幼児おんがく教室 (年少～年長)
- いろいろはにほんご教室 (国語クラス)

日曜プログラム

育英サタデースクール ニュージャージー校

- 幼児部 (年中、年長)
- 小学部 (小学1年～小学6年)
 - 野球部、サッカー部、卓球部、室内球技部、アート部、ダンス部、書写部
- 中学部 (中学1年～中学3年)
 - 中学部クラブ
- 高校国語・数学コース (高校1年生・高校2年生)
- ホームスクールシステム

育英サマーキャンプ

- サマーキャンプ (宿泊)
- サマーデイキャンプ
- サマー野球教室

りんごラーニングセンター (フォート・リー/NJ)



2460 Lemoine Avenue, #103, #104, #105,
Fort Lee, NJ 07024
Phone: (201)947-4707
E-mail: ringo.nyikuei@gmail.com

- 親子プレイグループ** (およそ1歳から)
- 育英日本語チャイルドケア**
「きりんのへや」 (2歳半から)
- 語学教室**
現地校サポートプログラム
各種テスト対策
 - 英語検定・SAT・NJASK・TOEIC・TOEFL
 ビジネス英語
英会話
書道教室
いろいろはにほんご教室 (日本語クラス)

検定関係

- 実用英語技能検定
→E-mail: eiken.nyikuei@gmail.com
- 漢字能力検定
→E-mail: kanken.nyikuei@gmail.com
- 実用算数技能検定
→E-mail: suken.nyikuei@gmail.com
- 硬筆・毛筆書写検定
→E-mail: shoshaken.nyikuei@gmail.com
- 日本語検定
→E-mail: goken.nyikuei@gmail.com

育英サンデースクール

- 幼児部 (年中、年長)
- 小学部 (小学1年～小学6年)
- E-mail: ikueisunday.nyikuei@gmail.com

日曜プログラム

- 日曜ピアノ教室
- 日曜バイオリン教室
- 日曜野球教室
- いろいろはにほんご教室 (JSL/JFL)
- 日曜合唱部
- 日曜ダブルダッチ
- 日曜寺子屋アカデミー
(書道、そろばん、理科実験、陶芸&アート)
→E-mail: terakoya.nyikuei@gmail.com

日ようびは 日本語であそぼう

日ようびは日本語であそぼう
(2歳半～5歳)

育英スキーキャンプ

- 日帰りスキー教室 (12月～2月)
- 宿泊スキーキャンプ (12月、2月)

育英ポートワシントン校 (ロングアイランド)

育英サタデースクール ポートワシントン校

- 幼児部 (年中、年長)
- 小学部 (小学1年～小学6年)
 - 書道教室、ダブルダッチクラブ、総合体育教室、合唱クラブ
- 中学部 (中学1年～中学3年)
 - アドバンスクラス国語・数学、書道教室、ダブルダッチクラブ、総合体育教室、合唱クラブ
- 高等部 (高校1年・高校2年)
 - 書道教室、ダブルダッチクラブ、総合体育教室、合唱クラブ

平日アフタースクール

- 国語・算数
- kupei Saturday School of Port Washington
Location: Weber Middle school
- Port Washington Office
8 Maple Street #6, Port Washington, NY 11050
Phone: (516)767-3139
※土曜日のみ: (516)455-3871 / (201)362-5678
Fax: (516)767-2753
E-mail: pwoffice.nyikuei@gmail.com

フレンズアカデミー (マンハッタン)

343 Lexington Ave., 5FL, New York, NY 10016
Phone: (212)935-8535
Fax: (212)813-0122
E-mail: friends.nyikuei@gmail.com

- 国語教室** (小学生から)
- 親子の日本語教室** (およそ12カ月～3歳未満)
- 幼児の日本語教室** (2歳10カ月から)
- 日本語の基礎教室** (3歳から)
- ピアノホームレッスン** (3歳から)
- 書道教室** (小学生から)
- たんぽぽ日本語ホームレッスン** (4歳から)
- 季節プログラム**
春→春のお勉強スクール
夏→幼児サマースクール
お勉強サマースクール
冬→冬のお勉強スクール

中高生講座 (中学生・高校生対象)

- SAT・ACT指導/SSAT・ISEE指導
- 高校受験指導/日本語能力試験指導 (日本語を母国語としない方)
- 日ようびは日本語であそぼう** (2歳半～5歳)
(NJキャンパスへスクールバスが出ます。)

育英サタデースクール マンハッタン校 (マンハッタン)

育英サタデースクール マンハッタン校

- 幼児部 (年中、年長)
- 小学部 (小学1年～小学6年)
 - 合唱部、リズムダンス部、書写部
- 中学部 (中学1年～中学3年)
 - 書写部、アドバンスクラス
- ホームスクールシステム

Location1: Friends Seminary
Location2: Grace Church School
Phone: (201)947-4832
※土曜日のみ: (201)637-3927 / (201)449-4501
Fax: (201)944-3680
E-mail: m.nyikuei@gmail.com

NY育英学園近郊地図



マンハッタン
ミッドタウン在住の
T君の1日
(全日制小学部:月～木の場合)
朝のお迎え: 7:50
途中のポイント
8:05～8:25
FDRからGW橋を渡る
学園到着: 8:45
学校、日々活動時間
8:50～15:30
学園出発: 15:35
GW橋からFDRに入る
途中のポイント
16:00～16:35
自宅到着: 17:00

ニューヨーク育英学園では、たくさんの皆様に学園について知って頂くために、年間を通じてオープンハウスを実施しています。また、行事によっては、無料のスクールバス(バスマーク)をご用意しております。どうぞ奮ってご参加ください。

1学期	
5月11日(日)	小学部運動会 (9:30～2:45 全日制・サタデースクール合同) (予備日5月18日) 場所: Winton White Stadium: Durie Ave. Englewood, NJ 07631
5月13日(火)	保育参観日 (年長8:40～11:20)
5月14日(水)	保育参観日 (年中8:40～11:20)
5月15日(木)	保育参観日 (年少8:40～11:20)
6月8日(日)	日曜参観日 (幼児部9:00～10:25・小学部10:40～12:20)
2学期	
9月18日(木)	オープンハウス・校内アートコンクール鑑賞会 (小学部9:10～3:10)
9月19日(金)	オープンハウス (英語の日) (小学部9:10～2:25)
9月21日(日)	幼児部運動会 (10:00～1:30) (予備日9月28日)
11月22日(土)	学園祭 (幼児部9:00～10:30・小学部10:30～3:30) 場所: North Cliff School
12月3日(水)	見学ツアー (幼児部・小学部ともに9:10～12:20)
12月5日(金)	見学ツアー (幼児部10:30～11:15・小学部9:10～12:20)
3学期	
1月13日(火)	保育参観日 (年長8:40～11:20)
1月14日(水)	保育参観日 (年中8:40～11:20)
1月15日(木)	スケートオープンハウスイベント (小学部9:10～3:10)
1月22日(木)	保育参観日 (年少8:40～11:20)

お問い合わせ/事務主任: 園田 稚香

2014年度 各種検定の予定と紹介

ニューヨーク育英学園では、英語検定の試験実施運営に加え、漢字検定、書写検定、数学検定、日本語検定を、年に2～3回実施しております。これらの検定を取得していると、推薦入試時に内申点が加算されたり、優遇されたりといった、メリットがあります。もちろん、各検定の取得級は、履歴書にも書くことができますので、就職にも有利です。また、今年度から、マンハッタン校、ポートワシントン校においても漢字検定の受験が可能になりました。この機会に、様々な検定に、是非チャレンジしてみませんか。
※本学園のホームページより各種検定の申込書をダウンロードし、プリントアウトすることができます。
※それぞれの検定の詳細についてもホームページにてご確認いただけます。
※学園HP各種検定ページ <http://japaneseschool.org/exam/index.php>

2014年度 英語実用技能検定		
検定回数	検定日	模擬試験
第1回 1次	6月7日(土)	① 5月28日(水)
第1回 2次	7月6日(日)	② 5月31日(土)
第2回 1次	10月11日(土)	① 10月1日(水)
第2回 2次	11月9日(日)	② 10月4日(土)
第3回 1次	2015年1月24日(土)	① 2015年1月14日(水)
第3回 2次	2015年2月22日(日)	② 2015年1月17日(土)

2014年度 数学検定		
検定回数	検定日	模擬試験
第1回	6月22日(日)	5月31日(土)
第2回	11月9日(日)	10月25日(土)
第3回	2015年2月15日(日)	2015年1月24日(土)

2014年度 書写検定		
検定回数	検定日	模擬試験
第1回	6月14日(土)	6月7日(土)
第2回	11月8日(土)	11月1日(土)
第3回	2015年1月31日(土)	2015年1月17日(土)

2014年度 漢字検定		
検定回数	検定日	模擬試験
第1回	6月7日(土)	5月31日(土)
第2回	11月1日(土)	10月25日(土)
第3回	2015年1月31日(土)	2015年1月24日(土)

2014年度 日本語検定		
検定回数	検定日	いろいろはにほんご教室
第1回	6月14日(土)	水曜 PM 4:00-5:30
第2回	11月8日(土)	土曜 PM 12:30-3:00

お問い合わせ/検定関係担当: 有馬 和貴

English Program

NY育英学園のバイリンガル教育はここが違う!

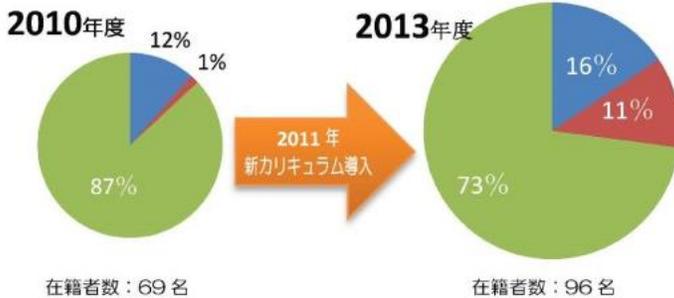
日本の文部科学省が定める新学習指導要領に従った年間のカリキュラムを、各学年において完全実施しつつ、本校ならではの多種多様な独創性あふれる学習活動が展開されています。それに加えて、レベルの高い英語学習活動も実施されています。

2011年度より 英語のみで「英語+その他の教科の学習」を行う 金曜1日英語の日を導入
週3分の2を日本語, 3分の1を英語で学習!

毎日の英語(月~木) **4時間** + 金曜1日英語の日 **6時間** = 英語学習時間 週合計 **10時間**

■全日制小学部英語クラスでLA (Language Arts) クラスの児童が占める割合が増加

■ LA (バイリンガル家庭) クラスの児童 ■ LA (日本人家庭) クラスの児童 ■ ESL (日本人家庭) クラスの児童



金曜1日英語の日の導入

バイリンガル児童の在籍率の増加

全児童数の増加

学園全日制部門では、2011年度の金曜1日英語の日導入以降、アメリカ永住のバイリンガル児童の在籍率が増えました。

私たちは、これを、年少期のうちに、日本文化を体験しながら日本語の基礎力を付け、日本人としてのアイデンティティを育成しつつも、将来アメリカの教育システムに編入した際に十分対応できる英語力をも身につけることのできるNY育英学園の英語教育に、多くの期待が集まっている結果と考えています。また、バイリンガル児童の増加に伴い、ESLクラスの児童の英語学習熱も高まり、よい相乗効果を生んでいます。

さらに、主に低学年を中心に全体の児童数も増えてきました。これも、将来的には現地校への転入を希望する家庭に対し、日本から来てすぐに現地校に入学することによる急激な学校生活の変化を避け、まずは学園のESLクラスで日英両語での英語指導を受けながら、徐々に日常生活に困らない英語の基礎力を付ける必要性を説く学園のバイリンガル教育理念が受け入れられつつある結果と考えています。

この他、学園には、長い現地校生活の後には日本への帰国が決定した際、現地校で培った英語力をキープしながら、日本語での学習にスムーズに移行できることを目的に編入してくる児童も後を絶ちません。

このように、学園では様々なニーズを抱えた家庭の子ども達のために、学年・レベル別クラスによる日英バイリンガル教育環境を提供しています。

Star Student!

※アメリカの小学校では、英語のクラスは、Language Arts (LA) と呼ばれています。NY育英学園では、その伝統に則ってLAクラスを設け、バイリンガルレベルの子ども達が、現地校と同じ教科書やワークブックを使って英語の学習をしています。

※学園全日制部門では、幼児部年長組で90%を日本語を使って生活し(英語での活動時間は、年少から年長に上がるにつれて徐々に5~10%に増加)、小学部で、全ての学年において英語での教科学習の時間を約30%に増やす、部分的イマージョン教育(Partial Immersion)を取り入れています。

※現地校では、ほぼ100%英語での教科学習となるため、バイリンガル教育を推進するNY育英学園では、こうした子どもたちのために、サタデー・サンデー・アフタースクールを開講し、日本語で学習する環境を提供することで(週に英語約85%日本語約15%)、バイリンガル児童の育成に貢献しています。

藤田 航輝 君(全日制小学部) 5年生で英検準1級に合格!

NY育英学園では、英検受験者が毎年増えるだけでなく、近年は低学年のうちに英検の上位級に合格する児童が増えてきています。藤田航輝君(6年)もそんな一人。3年の時に2級に合格し、5年生の冬に、見事準1級に合格しました。準1級は日本国内では大学生が受験者のほとんどを占め、年少の受験者が多い海外会場でも、準1級の合格者の多くは中学生以上という現状の中、11歳での合格は正に快挙です。1年生の時に学園全日制小学部に入学した航輝君は、日本の文部科学省に準拠したカリキュラムの中で学年トップレベルの学力を保持しつつも、毎日の英語の他にアフタースクールESLを受講したり、地元のサッカークラブで現地の子と混じって練習する中で、英語力を総合的にアップさせ、3年の時にESLを卒業し、LA(Language Arts)クラスでバイリンガルの子どもたちと一緒に英語の学習をしています。全日制小学部英語科では、航輝君に続く子どもたちがさらに増えてくれることを期待しています。

*EIKEN is an English language test conducted by a Japanese public-interest incorporated foundation, Society for Testing English Proficiency, Inc., and backed by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology.

NY育英学園の英語教育と英検対策

NY育英学園は、年に3回行なわれる実用英語技能検定(英検)の海外公開会場のうち最大規模(毎回1,000人前後)のNY会場の運営を公益財団法人日本英語検定協会から任されるだけでなく、長年に渡りNY育英学園全日制部門だけでなく、サタデー・スクール、サンデー・スクール、アフタースクール各校の児童・生徒たちに英検の受験を奨励し、英語教育に力を入れてきました。

英検の資格を持っていると中学・高校や短大・大学などの入試において、合格判定で優先されたり、内申点に加算されるなどの優遇措置があるほか、級に応じて学校の英語科目の単位として認められるなど、日本国内での英語教育の重要性が高まると共に、英検の受験者数も上昇の一途をたどっています。

NY育英学園では、関連機関のりんごラーニングセンターで英検対策講座を開講しているほか、アフタースクールESL部門で直前対策模試を行うなど、英検受験者をバックアップしています。

お問い合わせ/全日制英語科主任: 中川 晴美

ニューヨーク育英学園 / Japanese Children's Society, Inc.

8 West Bayview Avenue, Englewood Cliffs, NJ 07632 Phone: (201)947-4832 FAX: (201)944-3680

E-Mail: info.nyikuei@gmail.com

ホームページ: <http://www.japaneseschool.org>



Project : "ConnectED" through Kids' ISO 14000 Programme between Buenos Aires and New York



--- 北米大陸・南米大陸を繋ぐ ---

ブエノスアイレス・ニューヨーク 子どもTV国際会議

2013年11月4日(月)、ニューヨーク育英学園NJキャンパスにおいて全日制小学部5年生児童11名とアルゼンチン、ブエノスアイレス市立小学校5年生児童18名とがスカイプを使った子どもテレビ環境国際会議を実施し、子ども達同士が活発な意見交換を行ないました。

はじめにアルゼンチン教育省大臣 (El Ministro de Education) の Esteban Bullrich 氏が挨拶に立ち、「今日は始まりであり、今後もこのような交流が続いていくことを期待する。」と、子ども達、教師達にエールを贈ってくれました。その後、ブエノスアイレス市・グリーンスクール課、国際交流課の代表者挨拶、交流相手校のブエノスアイレス公立小学校 N° 20 D.E. 9° 小学校校長 Ms. Patricia Tejero の挨拶と続いた後、ニューヨーク育英学園の岡本徹学園長より「6年前、Kids' ISO の設立者の一人である河邊先生が私達の学校へ来校され、どうそれを学んて下さいました。残念ながらその河邊先生は2年前に亡くなりました。今日は北米と南米の子ども達がどの様に Kids' ISO を学んでいるかを見せる為、先生の写真を持ってきました。きれいな空気で生きる為には地球の環境が一番大事です。この機会にその環境についての意見を交換しましょう。」とスペイン語でスピーチ。ブエノスアイレス側から拍手喝采が起りました。会議は日本語、スペイン語をそれぞれ英語に訳すという形で行なわれ、双方から自らが取り組んだ、節水、節電、ゴミ削減やリサイクル活動について報告や意見交換が活発に行なわれました。また、ブエノスアイレスの児童からは「将来何になりたいですか?」という質問があり、学園の子供達はサッカープレイヤー、パン屋さん、幼稚園の先生、フライトアテンダント、シンガー、プロフェッサー、アニマルドクターと答えていました。ブエノスアイレスではサッカーは国民的スポーツですので、その答えを聞いて大いに盛り上がっている様子でした。

最後に、今回のブエノスアイレスでの Kids' ISO のスポンサーである国際協力機構 JICA アルゼンチンの三須裕二氏より、「将来、機会があれば是非お互いを訪ねてほしい。そして、これをきっかけに友達になってください。」との言葉が贈られ、次の交流が楽しみだとの声が双方からあがりました。

学園の環境教育チーム "Midori Project Team" では国際芸術技術機構 (ArTech, Japan) が開発、推進しているキッズ ISO (Kids' ISO 14000 Programme) を、2006年にアメリカで初めてカリキュラムに取り入れ、節電、節水、リサイクル、ごみの削減を実践しています。NJ州バーゲン郡、Bergen Utility Authority 主催の環境チャレンジングラントでもこれまでに何度もグラント受賞者に選ばれ、NY1テレビでもその様子が放送されました。2008年に開催された洞爺湖サミットの時には日本の児童との第一回TV国際会議を実施。子どもの視点から世界に向けて提言を行ないました。NY育英学園では国際芸術技術機構からの依頼を受け、国際認定資格をもつ学園のインストラクターが、ここ数年、パリのユネスコ本部での国際研修会、ニューヨーク市立小学校での研修会、カナダ・トロント市教育委員会での研修会に講師として参加。2012年4月と2013年7月には、国際協力機構 JICA の国際協力事業の一環として行われているアルゼンチン・ブエノスアイレス市教育委員会が主催する公立学校教師への研修を日本から渡重した国際認定インストラクターと共に実施しました。今年2014年は2005年から始まった「国連持続可能な開発のための教育の10年」(United Nations Decade of Education for Sustainable Development : UNDESD) の最終年にあたるため、世界的なネットワークでの交流を計画。今回のアルゼンチンとの交流はそのキックオフとなりました。



自分が書いた地球への手紙
「詩『セニョール プラネット』」
を朗読するブエノスアイレスの児童
(ブエノスアイレス市
ホームページより)



竹花佳加さん、
「そちらの天気はどうか
ですか?」とスペイン語で質
問。ブエノスアイレスは
暖かい春の日でした。



アルゼンチン教育省大臣
(El Ministro de Education)
の Esteban Bullrich 氏による
「開式の挨拶」



互いの国で使用して
いるゴミ箱を見せ合
いました。



百瀬啓一郎 (ももせ けいいちろう) 彫刻家、NY 育英学園全日制部門小学部 図画工作科教師

留学中に結婚して、すぐに子どもが生まれ、まだ英語がよく分からずアメリカ生活にも慣れない時に、仕事先で丹羽初代園長と岡本現園長と知り合った。親子ともども、教師として、また園児として色々とお世話になり、現在もNY 育英学園小学部の図画工作科を担当している。

娘は、版画家として自立し、活動を始めた。夢多きこれからの若い世代の人たちが幸多きことを願う。
(似顔絵：百瀬晴海／小学4年生当時)



職員・インシレーター

～経歴紹介 (紹介者：事務局長 上妻雅浩)～

- 学園の歴史と共にあるといっても過言ではないNY 育英名物教師。既に在職30数年。
- 東京藝術大学大学院博士課程彫刻科修了。現東京藝大の宮田亮平学長とは大学時代にバドミントンをして遊んでいたという。
- 日本にもアート作品が展示されており、その代表的作品である、「塚 (つか)」は「う～む」と唸る以外言葉が見つからないほどの作者独特の世界観を表現している。米子彫刻ロード (鳥取県) に現在も展示されている「塚」は「どっしりと沈黙し、たたずむ姿は、背景の山々にも決して負けることのない存在感がある」、と紹介されている。
- 授業ではとにかく、子ども中心。一人ひとりの個性を大切に、その思いを作品に宿す手伝いをしている。細部にまでこだわる粘り強さに太刀打ちできるものは誰もいない。また、サイズに合わないときにはカッターナイフを取り出し、サーッと切ってしまう大胆さを併せ持つ。毎年行われる学園祭の巨大な背景画 (バックドロップ) をクラス全員で設計図もなく、話し合いながら裸足で絵にまたがって描きあげる独特の制作手法を確立した。

本人のメッセージ

「限られた制作時間の中で、限りもない単純作業による制作方法で制作していると、時間の重なりがそのまま作品になって残っていきます。たくさんの作品を残すことができたらいいなあと思っています。」 (web Gallery より)



サタデーNJ校 高校生ボランティア紹介

荒木虎之介君 (2013年3月サタデースクール中学期卒業)

大きな体格の虎之介君。一見ぶっきらぼうに見えますが、つき合えばつき合うほど、優しさがにじみ出てくるナイスガイです。小さな子の面倒見のいい、とても優しいお兄さん先生で、子ども達に大人気です。サタデースクール幼児部やサマーデイキャンプで活躍中。

(写真：サマーデイキャンプ幼児部での様子)

紹介者/サタデーNJ校ディレクター：上妻 雅浩



前号 (10月17日付) 以降にご寄付頂いた企業・個人の皆様

Canon U.S.A., Inc.
Daiichi Sankyo, Inc.
Hisamitsu America, Inc.
The Japanese American Association of New York, Inc.
Japan Steel Works America, Inc.
Sumitomo Mitsui Trust Bank (U.S.A.) Limited
Urasenke Chanoyu Center of New York



Mr. & Ms. Deangelis
Robert K. Emy M. D.
Mr. Endo, Jiro
Mr. Hatada, Takeshi
Hirose, Teruo M.D., PH.D.
Ms. Hosono, Mishi
Ms. Kimoto, Kaya
Mr. & Ms. Landau
Mr. Mabuchi, Shoji
Ms. Oshima & Mr. Ichida
Mr. Shimura, Tomohiko

Mr. & Ms. Sorgen
Ms. Soejima, Nami
Mr. Stamataky, Evans J.
Mr. Suzuki, Seiichiro Sammy
Mr. & Ms. Takaku
Ms. Tomizawa, Maiko
Mr. Wake, Tristian Alexander
Mr. Watanabe, Hiroyuki & Catarina
Ms. Watanabe, K. Kiyomi
Mr. Yoshida, Reizo

(2014年4月8日現在)

お問い合わせ/ファンドレイジング担当 半場 綾子

フレンドシップ・ファンド&奨学金基金

全てのご寄付は米国内での税控除の対象となります。
All contribution is tax deductible. 501(c)(3) organization

フレンドシップ・ファンドに協力します。Friendship Fund Money Donation

個人…1 \$50 (5千円) × ()
団体…1 \$2000 (20万円) × ()
マッチングギフト…\$

NY育英学園奨学金基金に協力します。Scholarship Money Donation \$

「マッチングギフト」とは、企業の社会貢献制度の一つです。ご寄付頂いた方の勤務先にあたる企業・団体が、従業員のご寄付金額に対する一定比率の額を、従業員のご寄付先に、寄付することです。

PayPal を利用します。

★本学園ホームページ japaneseschool.org から (トップページ右下枠内) お問い合わせします。

お名前 (団体名) NAME _____
ご住所 ADDRESS _____
E-MAIL _____ @ _____
PHONE Home _____ Cell _____

チェックを郵送します。

★チェックの宛先
Japanese Children's Society, Inc.
(MEMO: Friendship Fund 又は Scholarship Fund)

★郵送先
Japanese Children's Society
8 West Bayview Ave.
Englewood Cliffs, NJ 07632

※郵送頂く際は、本用紙にご記入の上、切り取って同封頂きますようお願い致します。